



あんどう とよさく

安藤豊作

**質** 事業の進捗状況と市民への説明は。また、市民の声を事業に生かす考えはあるか。

## 庁舎建設 市民説明は

～意見を伺いながら～

**答** 企画部長

現在、業者とプランニングを行っています。市民のための新庁舎と位置づけ、基本設計の作業の過程において説明し、意見を伺います。そのことにより、事業の見直しや工期の延長もありえると判断しています。



本庁屋上から見た市庁舎建設予定地

## 改革プランを優先すべき

～庁舎建設完了後に～

**答** 企画部長

庁舎の規模は、現状の本庁職員316人を想定しています。

今後、本庁及び支所の集約化、高機能化を追求するため、本庁機能の充実強化が必要であり、その機能を十分に発揮しうる庁舎の実現が求められます。

**質**

集中改革プランの重要課題である人件費縮減や、事務事業の機構改革を優先すべきではないのか。

## なぜ今なのか

～合併特例債を充てたい～

**質**

極めて悪い社会経済状況下で、大型事業は適切か。

要です。

庁舎建設を先延ばしすることは、行革の先延ばしになると考えています。

**答** 企画部長

庁舎建設は、合併協決定事項であり、特例債が活用できる平成26年度までに、計画的に実行することが重

その他の質問

・農業振興について

# どう考えるまちづくり

～おおむねの事業は継続～

**質**

「ふるさとイキキ事業」は、地域ごとに特色ある行事やイベントを行い、あらゆる交流をしてきた。今後、どのように変わっていくのか。

**答** 企画部長

現在、各町のまちづくり委員会及びスポーツ振興会が行った各事業の評価をもとに、第1次審査を行っています。



えとう たつや

衛藤竜哉

今後は、審査の結果を踏まえ、第2次審査、そして来年度の予算措置も含めた最終的な評価を行い、決定してまいりたい。

**質**

まちづくり委員会の充実、連携の強化を図るべきと思うが、市の考え方は。

**答** 市長

今後、諮問に対する活発な議論をいただき、設置区域を越えた委員会相互の交流機会も積極的に設け、市政に参画できるように取り組んでいきたい。



花いっぱい運動でまちを明るく（大野町 めく森パーク）

# 地球環境を考える

～マイ箸運動の提唱・推進～

**質**

エコロジーの一環として、マイ箸運動をどう考えるか。

**答** 生活環境部長

ごみの減量化・資源の保護につながり、弁当業者へ

の負担も軽減することから、身近にできるエコ活動として捉えています。マイ箸運動をさらに広く職員に意識させ、市民の皆さまの模範となるよう取り組んでまいります。



出前でもマイ箸にしましょう